

目標達成計画

作成日: 平成 30年 4月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	施設サービス計画書の内容が同じものになりやすく、利用者様の出来ないことを支援する内容になっていることが多い。	利用者様の希望や思いが叶えられる計画書となるよう、アセスメントやモニタリングに意向を取り入れる。	普段の記録から利用者様本人が好きなことや良く思っている記憶・また何気ないことでも記録して、アセスメントやモニタリングに繋げて行く。	12ヶ月
2	33	見取りケアは行っておらず。医療行為がなければ、亡くなる寸前まで支援している。当グループホームでも利用者様の重度化は進んでいるが、見取りに対する知識や経験のある職員は少ない。	施設の方針として見取りケアまでは行えないが、なくなる寸前までは支援することは出来るので、終末期となったら利用者様・家族様が満足して頂けるような支援をする。	見取りケアについての研修を年2回以上行う。見取りでのご本人やご家族との関わり方や環境の作り方等を学ぶ。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。